

## 援助交際

平成 30 年 10 月 9 日記

「中学生にみだらな行為 \*\*警察署と県警生活安全部は 20 日、県青少年環境整備条例違反の疑いで、神奈川県\*\*市\*\*\*、無職 A 容疑者 (41) 逮捕した。同容疑者は 1 月\*\*頃、出会い系サイトで知り合った県中部地区の女子中学生 (14) が 18 歳未満であることを知りながら、\*\*市内のホテルでみだらな行為をした疑い」(平成\*\*年\*\*月 21 日付け静岡新聞朝刊)

援助交際。そんなことは都会の少女たちの話かと思っていた。相談は 2 月に入った。2 件目だった。少し大人びた綺麗な中学 2 年の女子生徒だった。夕方から仕事に行く母親を、彼女は親と認めない。小遣いがなくなると、母親とは一回り離れた別れた実父の携帯に電話して 5,6 万貰う。その実父はものわかりのいい、友達みたいな父親を自認する。同級生や高校生、社会人の 5,6 人と付き合っていると言う。しかし、まだ中学生なのに自覚がある程の性的依存症で、どうしようとの相談だった。驚くばかりであった。

最初は月 1 程度、ちょっと痛いのを我慢すれば、お小遣いがもらえ、ブランドものの服も買ってくれた。会っていくうちに無職だけど資産家で、男気のあつ紳士に魅力を感じ、会う回数も増えてきたと言う。月 10 数万の援交とはいえ、もはや父親を求めている。しかし、アナルセックスに\*\*\*と、ここで表現するに憚れる言葉が飛び出てきた。自ら体を求めていく自分に気づいた。このままではと思ったが、自分では止められない。援助交際のひとつの実態である。やはり家庭には、強い父性と包み込む母性が必要である。

事実を確認し、5 日後に通報した。今は 3 つ年上の男性と結婚し、2 児のお母さんである。